

日本海洋学会教育問題研究会
2014年度活動報告および2015年度活動計画

2015年2月27日

登録会員数 43名（2014年3月比 +2）

役員交代 会長が岸道郎（北海道大学）から轡田邦夫（東海大学）に交代

2014年度活動報告

1. 第3回「COSIA（海洋科学コミュニケーション実践講座）体験ワークショップ」開催

日時： 3月29日（土）17:30～19:30

場所： 東京海洋大学品川キャンパス講義棟35番講義室

主催： 日本海洋学会教育問題研究会、NPO法人海の自然史研究所

参加者：9名（内6名は教育問題研究会会員）

担当： 市川洋、今宮則子

2. 「海のサイエンスカフェ」開催

1) 第13回

日時： 3月30日10:00～12:00

場所： ヴァージンカフェ品川

東京都港区港南1丁目9番32号 アレア品川別館207

話題： 海の砂漠の不思議に迫る！

～栄養の少ない熱帯・亜熱帯海域の生物活動が地球環境の鍵を握る？～

話題提供：橋濱史典さん（東京海洋大学）

進行： 川合美千代

主催： 日本海洋学会教育問題研究会

参加者：15名（社会人・学生：6名、海洋学会会員：9名（うち教育問題研究会会員：7名））

担当： 川合美千代、上野洋路

2) 第14回

日時： 2014年9月13日10時30分～12時

場所： 長崎ピースミュージアム

話題： 魚はいつも何を食べているの？～筋肉の化学成分から探る～

話題提供：梅澤有さん（長崎大学）

進行： 上野洋路

主催： 日本海洋学会教育問題研究会

参加者：23名（社会人7名、学生7名、海洋学会会員9名（うち教育問題研究会会員6名））

担当： 上野洋路、川合美千代

3. 高等学校学習指導要領の平成25年度実施開始への対応および今後の改訂に向けての活動

1) JpGU 地学教育セッション「次期学習指導要領における高校地学教育のあり方」に参加

日時： 4月29日（火：祭日） 14:15～18:00

場所： パシフィコ横浜 503号室

教育問題研究会参加者：丹羽淑博、市川洋

2) 第19回 CSERS シンポジウム「新学習指導要領は中学校理科教育をどう変えるか」に参加

日時： 5月18日(土)12:50~17:00

場所：化学会館7階ホール

主催：CSERS 教科「理科」関連学会協議会

教育問題研究会参加者：間々田和彦

3) 東京大学 海洋教育セミナー&フォーラム「海の学びの万華鏡」でのポスター発表

日時：7月20日(日)09:30~17:00

場所：東京大学・本郷キャンパス・福武ホール

共催：東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター、日本財団

ポスター発表題目：日本海洋学会教育問題研究会の海洋教育支援活動

発表者：市川洋・岸道郎

教育問題研究会参加者：岸道郎、丹羽淑博、市川洋

4) 学術フォーラム「初等中等教育における海洋教育の意義と課題ー海洋立国を担う

若手の育成に向けてー」に参加

日時：8月1日(金) 13:00~17:30

場所：学術会議講堂

主催：学術会議

教育問題研究会参加者：岸道郎、丹羽淑博

5) シンポジウム「初等中等教育における海洋教育は可能か？その方策を探る」の開催

日時：9月13日14時~17時

会場：長崎大学水産学部2階 第3講義室

共催：日本海洋学会教育問題研究会・東京大学海洋教育促進研究センター

担当(コンビナー)：岸道郎・丹羽淑博

6) 理科カリキュラムを考える会シンポジウム

「教育環境の改善と、これから求められる理科カリキュラム」でポスター発表

日時：1月11日(日)・12日(月・祝)

場所：東海大学代々木校舎

主催：理科カリキュラムを考える会

ポスター発表題目：小学校教育に「海」を！

ポスター発表著者：岸道郎、丹羽淑博、轡田邦夫、市川洋

教育問題研究会参加者：丹羽淑博、市川洋

4. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日時：6月2日(月)09:30~12:00、6月3日(火)09:30~12:00

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港(真鶴)

主催：真鶴町

協力：横浜国立大学、NPO 法人ディスカバーブルー、教育問題研究会

指導者：渡部 孟(NPO 法人ディスカバーブルー)

支援者：横浜国大教員 1 名、真鶴町立「遠藤貝類博物館」職員 1 名

NPO 法人ディスカバーブルー職員 3 名、教育問題研究会 1 名

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年（6 月 2 日：1 組 27 名、6 月 3 日：2 組 27 名）、
教員 2 名、保護者 1 名、オブザーバーとして東京大学海洋アライアンスから
3 名参加

担当：菊池知彦、乙部弘隆

教育問題研究会参加者：乙部弘隆

5. 「女子中高生夏の学校 2014」へ参加

日時：8 月 8 日

場所：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）

共催：国立女性教育会館、日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」、
日本学術会議「科学者委員会 男女共同参画分科会」

協賛：日本海洋学会、他

内容：ポスター展示・進路相談・小実験

出展題目：「海」にはなぞがいっぱい—海のなぞを探る研究あれこれ—

協力：窪川かおる さん

教育問題研究会参加者：大林由美子、川合美千代、西山真樹、市川洋

担当：大林由美子、川合美千代

6. サイエンスアゴラ 2014 への出展

日時：11 月 7-9 日

場所：東京お台場地区

主催：海洋教育問題研究会

内容：ブース展示（ポスター、実演）

出展協力：野中正見さん、升本順夫さん、沿岸海洋研究会、環境問題研究会、船の科学館、他

教育問題研究会参加者：岸道郎、乙部弘隆、他 8 名

企画担当：市川洋

7. 2014 年国際地学オリンピックスペイン大会 8 月合宿研修講師派遣

地学オリンピック日本委員会から海洋学会への派遣依頼に対応

日時：8 月 21 日

場所：筑波研修センター（つくば市）

主催：地学オリンピック日本委員会

内容：海洋学

対象：2014 年国際地学オリンピックスペイン大会日本代表選手 4 名、他

派遣講師：市川洋

8. その他

1) JOS ニュースレターでの寄稿掲載

海のエッセイ 5 - (上野洋路) Vol.4, No.1, 21.(2014年6月)

海のエッセイ 6 - (藤井直紀) Vol.4, No.3, 21.(2014年11月)

第 3 回「COSIA 体験ワークショップ」開催報告 (市川洋・今宮則子)

女子中高生夏の学校 2014 参加報告 (大林由美子、他) 1月23日投稿

サイエンスアゴラ 2014 参加報告 (市川洋) 1月23日投稿

2) 「日本サイエンスコミュニケーション協会誌」への寄稿

題目：日本海洋学会によるサイエンスカフェ活動

著者：市川洋・須賀利雄

日本サイエンスコミュニケーション協会誌, Vol.3, No.2, 42-43. (2014年11月)

3) 研究会ウェブサーバー移転

- TOK2 Professional (<http://procp.tok2.com/>) にサーバを移転した。また、ドメインを取得した。6月10日に移転完了(旧サーバは停止)。これに伴い、海のサイエンスカフェなどのコンテンツもデザイン・アドレスともに新しいものとした。

新 URL <http://www.jos-edu.com/index.html>

担当：藤井直紀、岸道郎

新しいサービスとして「海のこと、なんでも相談室(教員向け、報道関係者向け、一般向け)」を開設。

担当：藤井直紀、市川洋、川合美千代、難波美帆

4) イベントの後援

- 夏休み子ども有明海科学教室～海の生物多様性を知ろう

日時：8月7、10、17日

場所：鹿島市生涯学習センターエイブル3階研修室および干潟展望館

内容：有明海で生物採集、観察、種の同定を体験することで、有明海の生物、とくに干潟に住む生物、棚じぶ漁で採れる生物について、興味を持ってもらうとともに、より深い知識を身につけてもらう。雨天時は別メニューを用意する。

担当：藤井直紀

参加者：26名(8月7日)、16名(8月10日)、9名(8月17日)

教育問題研究会参加者：藤井直紀

5) 学会幹事会大会運営 WG への回答

- 12月1日付けで本研究会に依頼のあった「海洋学会シンポジウムに関するアンケート」に対し、本研究会会員の回答(2件)をまとめて、1月19日に回答。
- 2月5日付けで学会 ML を通して全学会員に依頼のあった「大会運営に関する意見募集」に対し、「海洋教育実践に関わるオープンポスターセッション」の具体案を作成し、後日提案することを2月20日に回答。

<情報>

会員がかかわった海洋教育関連活動(抜粋)

1) 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」

日時：8月5日(火)

場所：駿河湾内

題目：海の不思議にふれる一望星丸は海の実験室ー

参加者：中学・高校生（40名）、教員・保護者
講師：轡田邦夫・加藤義久・千賀康弘・澤本彰三・成田尚史
情報提供：轡田邦夫

2) 東京大学柏キャンパスオープンキャンパスに参加

内容：紙芝居による海の話（3題程度）

日時：10月25日（土）

場所：東京大学大気海洋研究所

演者：乙部弘隆

情報提供：乙部弘隆

3) 講演会「海と大気のはなし2」で講演

日時：2015年1月10日

場所：東北大学片平さくらホール

主催：科研費新学術領域「気候系のhot spot」

題目：海の塩分分布は天然の雨量計

講師：須賀利雄

情報提供：須賀利雄

4) 土木学会トークサロン 東日本大震災復興フォローアップセミナー

第3回「海岸地域の総合的利用管理」

日時：2015年1月26日 18:00-20:00

場所：土木学会講堂

主催：土木学会

講演題目：日本の沿岸の静的な社会制度と生物生息地としての動的な自然との不整合を考える

講師：清野聡子

情報提供：清野聡子

2015年度活動計画

1. 「海のサイエンスカフェ」開催

1) 第15回

日時：3月21日 10:00~11:30

場所：ヴァージンカフェ品川

話題：微化石が語る過去の海

話題提供：小野寺 丈尚太郎さん（海洋研究開発機構）

進行：橋濱史典さん（東京海洋大学）

主催：日本海洋学会教育問題研究会

担当：川合美千代、上野洋路

2) 第16回

日時：9月26日（土）午前

場所：愛媛大学

話題： 凍る海のふしぎ（仮題）

話題提供：野村大樹さん（北大低温研）

主催：日本海洋学会教育問題研究会

担当：上野洋路、川合美千代

2. 第4回「COSIA（海洋科学コミュニケーション実践講座）体験ワークショップ」開催

日時：3月24日（火）16：30～18：00

場所：東京海洋大学品川キャンパス講義棟31番講義室

主催：日本海洋学会教育問題研究会、NPO 法人海の自然史研究所

担当：市川洋、今宮則子

3. 学習指導要領の次期改訂に向けての活動

1) 理科第4学年新規提案単元「海を考えよう」の授業計画案を作成し、関係先に提案

担当：岸道郎、丹羽淑博

2) 日本地球惑星科学連合他のイベントに参加して情報を発信・収集。

4. 高校での出前授業の斡旋・推進

三重県で2016年国際地学オリンピックが開催される。その出場者選抜試験対策として海洋学集中講義（出前授業）の需要が見込まれる（2015年国際地学オリンピック出場者選抜試験は2014年12月21日に全国77会場で開催され、2296名が応募し、1868名が参加）ので、2015年度には、海洋学出前授業の斡旋活動を特に強く推進する。

出前授業が可能な海洋学会員を学会 ML で募集し、応募した学会員が指定する高校（出身高校、勤務地、居住地の高校）での海洋学出前授業開講を本研究会会長名での依頼状送付などによって支援する。

担当：岸道郎・市川洋

5. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日時：未定

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主催：真鶴町

協力：横浜国立大学、NPO 法人ディスカバークブルー、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（NPO 法人ディスカバークブルー）

支援者：横浜国大教員1名、真鶴町立「遠藤貝類博物館」職員1名

NPO 法人ディスカバークブルー職員3名、教育問題研究会1名

受講者：真鶴町立真鶴小学校6年、他

担当：菊池知彦、乙部弘隆

6. 東京都理数系教員指導力向上研修講師派遣

日時：8月10日

場所：東京大学理学部

主催：東京都教育委員会

内容：数値シミュレーションで学ぶ津波の物理の基礎

来年度よりの本格的参加に向けて、試行

担当：丹羽淑博

7. 「女子中高生夏の学校 2015」への参加

日時：未定（8月上旬）

場所：未定（国立女性教育会館、埼玉県比企郡嵐山町）

協賛：日本海洋学会（予定）、他

内容：ポスター展示・進路相談、他

出展題目：未定

海洋学会として参加、実務は教育問題研究会が担当

担当：大林由美子、川合美千代

8. 2015年国際地学オリンピックスペイン大会8月合宿研修講師派遣

地学オリンピック日本委員会から海洋学会への派遣依頼に対応。

日時：未定 場所：未定

主催：地学オリンピック日本委員会

内容：海洋学

対象：2015年国際地学オリンピックスペイン大会日本代表選手、他

派遣講師：未定（前年までの市川洋から交代）

9. サイエンスアゴラ 2015 への出展

日時：11月13日(金)–15日(日)

場所：東京お台場地区

主催：海洋教育問題研究会

内容：ブース展示（ポスター、実演）

企画担当：未定

10. その他

1) JOS ニュースレターへの寄稿

海のエッセイ7ー（轡田邦夫）

海のエッセイ8ー（未定）

第4回COSIA体験ワークショップ開催報告（市川洋、今宮則子）

サイエンスアゴラ2015参加報告

2) 研究会ウェブサイト更新

「海のこと、なんでも相談室（教員向け、報道関係者向け、一般向け）」の拡充

担当：藤井直紀、市川洋、川合美千代、難波美帆

3) 「海洋教育実践」に関わるオープンポスターセッション開設の提案

学会員が「海洋教育実践」に関わる情報を交換する場として、学会員（発表件数の制限外）のみならず学校および社会教育施設で海洋教育に携わる非会員（参加費無料）も発表が可能なオープンポスターセッションの具体的内容を作成し、その開設を幹事会に提案する。

担当：岸道郎、轡田邦夫

4) 検討中

●海洋リテラシー普及に関わる映像製作事業（岸道郎、岩崎望）

●旧課程理科教科書（単元：海）の現代版の刊行（丹羽淑博）

<情報>

会員がかかわる予定の海洋教育関連活動（抜粋）

1) 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」

日時：7月26日(日)

場所：駿河湾内

題目：海の不思議にふれる ー望星丸は海の実験室ー

参加者：中学・高校生（40名）、教員・保護者

講師：轡田邦夫、加藤義久、千賀康弘、澤本彰三、成田尚史、小松大祐

情報提供：轡田邦夫